

9月のTV番組表+お役立ち生活情報

9月

TV番組表
9/1-30
SEPTEMBER

加藤綾子

マイナスをプラスに変える!
これからもう一度プラスに変える方法の最新情報

Interview マイナスをプラスに変えた分岐点

鈴木宗男

FREE
ご自由に
お読みください!



新党大地

新党大地

新党大地

新党大地

新党大地

Interview マイナスをプラスに変えた分岐点

TV Interview
インタビュー

新党大地代表
鈴木宗男
Muneo Suzuki

「政治家としてやるべきことを誰よりもやっているという自負がある」

現在は新党大地の代表を務める元衆議院議員の鈴木宗男氏。初出馬の際は師である中川一郎氏の息子との選挙戦で骨内の争いとパッシングを受け、そして当選を重ねてからは、「抵抗勢力」として疑惑をかけられた末の逮捕、有罪判決、服役。度重なる逆境を乗り越えてきた信念の政治家である。今月はそんな鈴木氏に掛けられない心の原点などについてお話をうかがった。

Q 人生の最大の転機は何でしたか？

A 昭和58年1月9日、秘書として仕えていた中川一郎先生が急逝されたことです。一瞬、何となくとまどい、自分が、自ら生命を絶たれたことは、本当につらかったです。そして、何よりも新米は政治家を目指していた自分にとっては、師匠であり父権である宗男先生がいなくなるという点では、人生が変わったに等しい出来事でした。

Q その後、中川一郎氏の地盤から出馬されましたか……

A 後継者として私を推す声、中川先生の息子である昭一さんを推す声の両方がありました。やがて昭一さんを出馬すべきだという意見が強くなり、本当に悩みました。そんな中、友人の松山千春さんが「これはチャンスだから勝負しろ」といってくれたんです。しかし、出馬しようとしたらすでに骨肉の争いの先生の自殺の原因を作ったのは私だの……TVや雑誌で叩かれました。そんなふうには騒がれるのは本意なのでやめようかと思つたところ、女房からいわれました。「ここで止めたら、先生の自殺の原因を作ったんじゃないかと、一生いわれ続けることになる。今まで自分の100%を先生に捧げてきたんだから、筋を通せ」と、それで腹が決まりました。

Q どのメディアも悪扱していましたね。

A メディアはわりややすい悪役を作られたところがあります。私は無所属でしたから、予想では圧倒的に不利。位牌を持った選挙は強いですね。でも、厳しい戦いになることはわかっていました。勝負もありました。中川先生の3人の弟さんは甥っ子である昭一さんではなく私を支援してくれました。まあ、報道される内容は随分現実とはかけはなれていましたね。奇跡的な勝利といわれる当選を果しましたが、まずは先生のご加護、そして日本一広い選挙区を人の何倍も駆け回った結果だと思えます。

Q 掛けられない原動力は何でしょうか

A その後、私は様々な疑惑をかけられたり、逮捕・服役の経験もあつたりしますが、全くやましいところはありません。受け取ったとされるお詫には領収書を出すなど、疑惑に対しては全てお答えしてきました。改革が持て續けられた時期、私はわりややすい「抵抗勢力」として国策捜査の対象になりました。そして、日露関係において北方領土の解決、平和条約の締結に向けて私ほど動いた者はいないはず。政治家としてやるべきことを誰よりもやっている。そして何もやましいことはないという自負があるから、いつかこうして元気でいられるんです。これからも悪しき権力を叩いてまいります。

Q 政治は何だをお考えでしょうか

A 私が生まれ育つたのは、北海道の足寄。日本でも一番寒いところですよ。昭和36年まで霧気が通つておらず、夜はランプの明かり。家は貧しくて、米なんて食べられない。妻や子どもがの雑穀を食ったものです。両親は朝早くから日が暮れるまで働いている一方で、ラジオから聞えてくるのは、高度経済成長で賑わう東京の様子。この格差は何なのかと、たまた、弱い方、恵まれない方を何とかしたいと思ひ、中学1年生の時に作文に書いた「政治家になる」という夢を表現したんです。そして、今でもその思いでやっています。来年には公民権停止が解除、また選挙にも出られます。まだまだやらなければなりません。